

四国

逸品すとりー

2019 認定事業
商品紹介カタログ



鮮やかなシルクを「しじら織」で

美しい色彩で織られた生地は、シボと呼ばれる凹凸で独特の風合いのたたずまい。阿波しじら織は明治維新の頃から続く伝統技術。阿波安宅村の織女、海部ハナが、雨に濡れそぼって縮んだ布の凹凸をヒントに苦心研究の末に考案したとされます。織った布を熱湯にくぐらせ乾燥すると、経糸の張力差により鮮やかなシボが浮き上がります。さらりとして肌ざわりよく、軽く涼しいのが特長。阿波藍を使った織物は国の伝統工芸品指定。

- わらりと涼しい
- 衣料品の生地として
- 雑貨やインテリア製品にも



23 絹混阿波しじら織り

〔希望小売価格〕税込 27,000 円 (本体価格 25,000 円)

〔内容量〕1 反：13m×38cm

〔原材料〕経糸(たていと)：絹 100%

緯糸(よこいと)：絹 100%

長尾織布 含名会社

〒779-3121

徳島県徳島市国府町和田 189

TEL: 088-642-1228

Mail: orife@bronze.ocn.ne.jp

<http://www.awa-shijira.com>